

## [経営成績]

当年度における当社グループを取り巻く状況は、年度前半は、企業のIT投資や個人向けのデジタル家電、パソコンの需要増加などにより国内景気は緩やかに回復し、米国・欧州の景気も拡大基調にありましたが、年度後半は、米国経済の減速とこれを背景とした企業の設備投資抑制や在庫調整の動きが日本、欧州にも広がり、外部環境が急速に悪化いたしました。

### (1) 連結業績

このような状況のもと、当年度における売上高の状況は次のとおりです。

#### 1. ソフトウェア・サービスは20,168億円(前年比2%増)

国内ではインターネットの利用拡大にともないシステムインテグレーションやアウトソーシングを中心としたサービスビジネスの売上が増加いたしました。海外では企業のIT投資抑制の影響を受け欧米におけるサービスビジネスの売上が減少したことなどにより全体の売上が伸び悩みました。

#### 2. 情報処理は14,975億円(前年比7%減)

国内ではインターネットの活用を支える製品の開発・販売に努め、UNIXサーバや個人向けを中心としたパーソナルコンピュータの売上が増加いたしました。グローバルサーバの需要が減少したことなどにより、国内全体では売上が減少いたしました。また、海外においても、年度後半に欧米向けデスクトップパソコン用小型磁気ディスク装置の売上が減少したほか、欧州のパーソナルコンピュータ製造・販売子会社を、前年度下期に持分法適用会社としたことなどにより売上が減少いたしました。

#### 3. 通信は8,498億円(前年比10%増)

北米における光伝送システムは、通信回線の高速化・大容量化が進み売上が増加いたしました。年度後半においては通信事業会社の投資抑制の影響を受け売上が伸び悩みました。また、国内においては、サービス開始を控えた次世代移動通信システムIMT-2000対応の交換システムや基地局システムの出荷が本格化し売上が増加したほか、携帯電話でもiモードの新サービスに対応した新機種の需要増加により売上が増加いたしました。

なお、北米向けに毎秒1.76テラビットの伝送容量を持つWDMシステムの商用出荷を開始いたしました。

#### 4. 電子デバイスは7,597億円(前年比34%増)

米国経済の減速を背景とした企業の在庫調整の影響により、年明け以降売上の伸びが急激に減速いたしました。年度前半における携帯電話やデジタル家電向けなどのフラッシュメモリ、ロジックIC、および光伝送システム向け化合物半導体などの需要の急増に積極的に対応し、年間では大幅な売上の増加となりました。

これらの結果、売上高は5兆4,844億円と前年比4%の増収となりました。

利益面では、いち早く事業構造改革を進めていた電子デバイスの収益性向上に加え、グループ全体で営業費用の圧縮に努めたことなどにより、営業利益は2,440億円(前年比63%増)、経常利益は1,897億円(同2.7倍)を計上いたしました。当期利益につきましては、引き続き事業構造改革を推進したほか、米国アムダール社の事業構造転換にともない特別損失を計上したことなどにより、85億円(同80%減)となりました。

## (2) 単独業績

当年度におきましては、サービスビジネス、UNIXサーバ、パーソナルコンピュータの売上は増加いたしました。グローバルサーバや小型磁気ディスク装置の売上が減少し、さらに米国景気の減速を背景として年明け以降電子デバイスの売上の伸びが急激に減速し、売上高は3兆3,822億円(前年比4%増)にとどまりました。損益につきましては、いち早く事業構造改革をすすめていた電子デバイスの収益性向上に加え、全社的な営業費用の圧縮に努めたことにより、営業利益は1,002億円(同86%増)、経常利益は1,074億円(同6.8倍)を計上いたしました。当期利益につきましては、引き続き事業構造改革を推進したほか、当年度末時点における関係会社株式などの減損処理1,405億円を実施するとともに、退職給付債務に対する積立不足を一括償却し、同時に保有株式の信託設定を行ったことなどにより466億円(同3.4倍)を計上いたしました。

## (3) 2001年度の業績見通し

IT産業は、ネットワーク社会の将来を担う産業として中長期的には最も成長が期待される分野です。しかしながら次年度におきましては、世界的な景気減速を背景とした企業の設備投資抑制や在庫調整の動きなど厳しい状況が続くと予想されることから、現時点における2001年度の業績見通しを下記のとおりとしております。

### 連 結

	中 間 期	通 期
売上高	2兆6,500億円(前年同期比 6%増)	5兆8,000億円(前年比 6%増)
営業利益	900"(" 10%減)	2,700"(" 11%増)
経常利益	300"(" 54%減)	1,600"(" 16%減)
当期純利益	0	500"(" 5.9倍)

### 単 独

	中 間 期	通 期
売上高	1兆6,000億円(前年同期比 6%増)	3兆6,000億円(前年比 6%増)
営業利益	400"(" 56%増)	1,000"(" -%減)
経常利益	300"(" 6%増)	800"(" 26%減)
当期純利益	100"(" 87%減)	400"(" 14%減)

上記見通しには、主要市場における製品・部品の需給動向(日本及び欧米など)、為替相場、日米の株式市況などに不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる場合がありえることをご承知おき願います。